

◎講師等
(五十音順)

乾由明 Yoshitake Inui

元兵庫陶芸美術館長

前崎信也 Shinya Maezaki

立命館大学専門研究員

森野泰明 Yasuaki Morino

陶芸家・日本藝術院会員

柳原睦夫 Muniso Yanagihara

陶芸家・大阪芸術大学名誉教授

山本茂雄 Shigeo Yamamoto

富本憲吉文化資料館館長

森野彰人 Akiro Morino

京都市立芸術大学 准教授

◎司会

京都市立芸術大学シンポジウム
創造のためのアーカイブ ― 重点事業 part.1

富本憲吉の ことば

2013年12月1日(日) 午後1時〜4時

京都国立近代美術館講堂〈入場無料〉

The National Museum of Modern Art, Kyoto

主催 京都市立芸術大学アーカイブリサーチセンター準備委員会

京都市立芸術大学(特別研究助成事業)

協力 富本憲吉文化資料館、京都国立近代美術館、
立命館大学アート・リサーチセンター

問合せ 京都市立芸術大学教務学生担当 TEL 075-334-2006

◎プログラム

12時30分…開場

13時…開会挨拶 建昌哲員(京都市立芸術大学学長)

13時10分…報告

「デジタルアーカイブ

から見えることば」

前崎信也(立命館大学専門研究員)

13時40分…寄贈資料解説

「バーナード・リーチ宛

書簡をめぐる」

山本茂雄(富本憲吉文化資料館館長)

14時30分…休憩

14時45分…鼎談「わが陶器造り」

乾由明(元兵庫陶芸美術館長)

柳原睦夫(陶芸家・大阪芸術大学名誉教授)

森野泰明(陶芸家・日本藝術院会員)

15時45分…質疑応答

16時…閉会

京都市立芸術大学シンポジウム
創造のためのアーカイブ—重点事業 Part.1

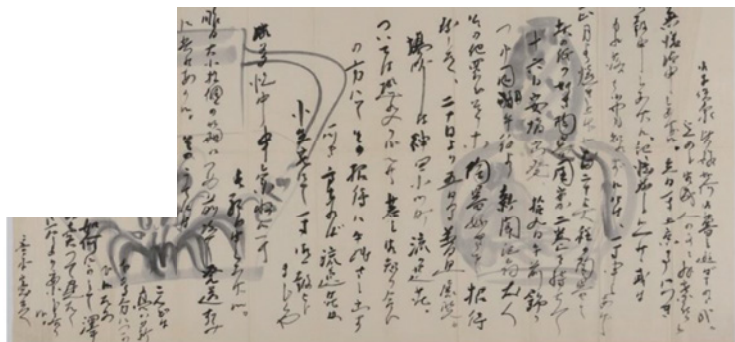
富本憲吉の ことば

Profile

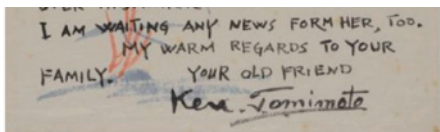
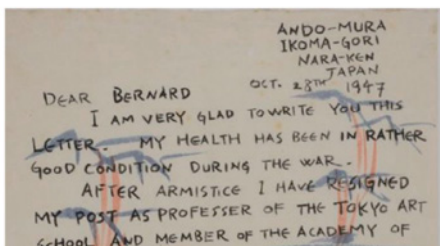
この度、京都市立芸術大学は富本憲吉記念館から富本憲吉に関する資料を寄贈頂く運びとなりました。富本が感銘を受け、親交が深かったバーナード・リーチとの往復書簡をはじめ、水木要太郎、南薫造、白瀧幾之助宛の書簡や文書、素描、図案など貴重な研究資料約580点は「富本憲吉アーカイブ・辻本勇コレクション」として研究を進め、芸術資料館での公開やシンポジウム、出版物等を通して多くの方々の利用に役立てて行く予定です。

富本憲吉は京都市立芸術大学の前身である京都市立美術大学で陶磁器専攻を創設し、教授、学長を務めました。富本は卓抜とした識見をそなえ、強烈な個性を持った存在であり、国画創作協会(国画会)芸部、新匠会、東京美術学校(東京藝術大学)や京都市立美術大学においては、彼の創造活動を敬慕する人たちが交流し、多数の有能な芸術家を輩出しました。今回は「Part.1」として「富本憲吉のことば」をテーマにシンポジウムを行います。「模様より模様を造る可からず」に代表される富本の「ことば」は芸術に対する真摯な姿勢を示しています。「楽焼工程」「窯辺雑記」「わが陶器造り」など数々の著作において自身の技法や美意識を書き残しており、富本は多くの言葉を残した陶芸家はいません。「バーナード・リーチとの書簡」「わが陶器造り」など、富本と様々な人々との交流の中で生まれた「ことば」を抽出し再考するシンポジウムです。会場では彼の豊かな個性と高い見識が凝縮された書簡など、寄贈頂いた貴重な資料の一部を展示いたします。

森野彰人(京都市立芸術大学准教授)



白瀧幾之助宛書簡 1917年



バーナード・リーチ宛書簡 白瀧幾之助宛絵はがき 1909年10月22日消印